

本市の新型コロナウイルス感染症の対応等について

◎ 趣旨

本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況や新型コロナワクチン3回目接種の状況等について報告するもの

I 新型コロナウイルス感染症の感染状況等について

1 新型コロナウイルス感染症の状況について

(1) 本市の感染状況

- ・ 第4波～6波における市内感染者の推移（令和3年4月1日～令和4年2月22日）



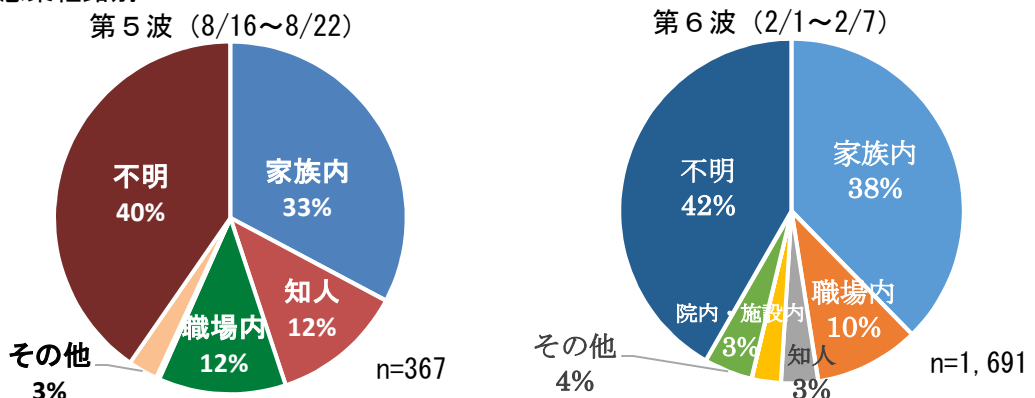
⇒ 第4波は、全国的な発生の広がりに変異株の影響により、感染者の一定数の発生が長期間継続した。

第5波は、8月下旬に感染者数がピークを示し、ワクチンの効果もあり、9月に入ると減少に転じ、中旬以降は大幅に減少した。

第6波は感染力の強い変異株の影響により、1日の感染者が連日最多を更新するなど、感染が急拡大した。

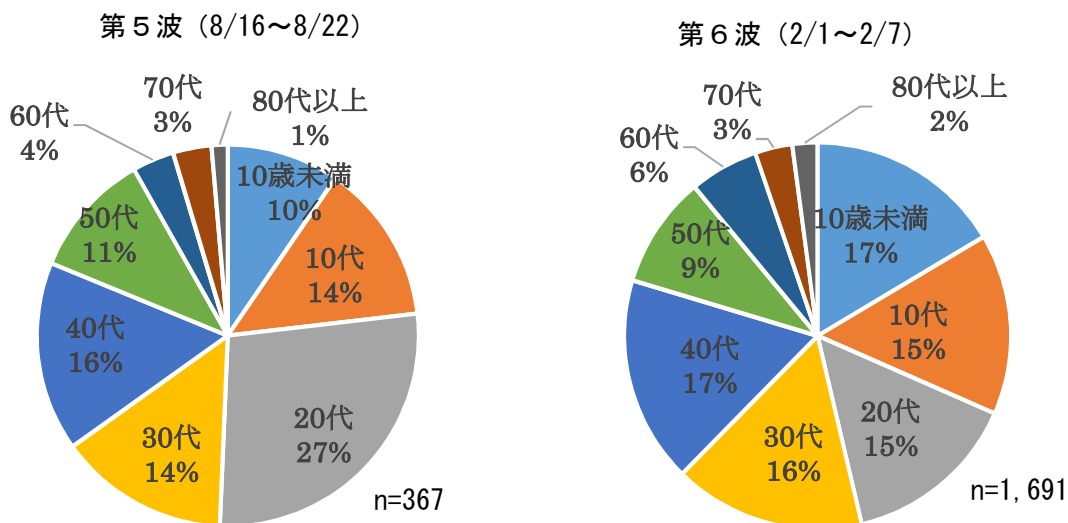
(2) 第5波と第6波の比較（感染経路別，年代別，クラスター発生数）

① 感染経路別



⇒ 第5波，第6波とも，家族内感染が3割以上を占めている。

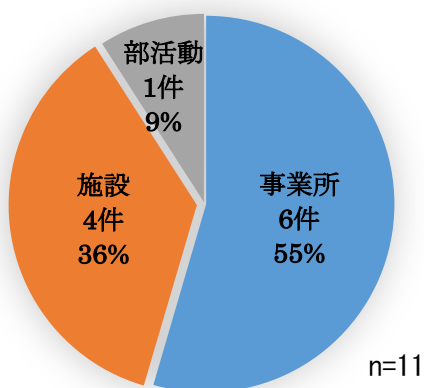
② 年代別



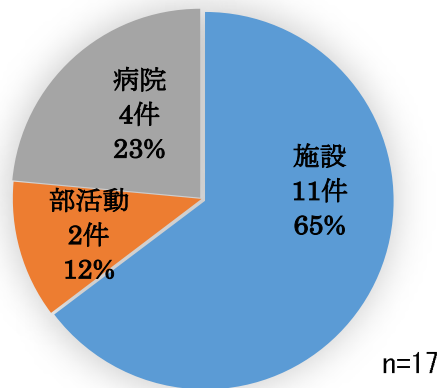
⇒ 第5波では20代の感染が目立ったところであるが、第6波では、10歳未満の感染者の割合が大幅に増加した。

③ クラスタ発生数

第5波 (7月下旬~9月上旬)



第6波 (12月下旬~2月中旬)



⇒ 第5波では事業所でのクラスターが目立ったところであるが、第6波では、施設（高齢者施設・保育施設）や病院でのクラスターが多く発生した。

2 本市の検査体制について

① PCR検査センターでの検査

- ・ 検査件数：27,850件（令和4年2月22日現在）

② 民間委託（診療・検査医療機関）でのPCR等検査

- ・ 160医療機関，検査件数：103,871件（令和4年2月22日現在）

③ 高齢者等施設一斉PCR検査

⇒ まん延防止重点措置期間における、重症化リスクが高い高齢者施設や障がい者施設の従業員への一斉検査

- 実施期間：令和3年2月15日～3月27日（1回目）

施設数	検査件数	陽性件数(陽性率)
374件	12,300件	0件(0%)

- 実施期間：令和3年9月10日～9月22日（2回目）

施設数	検査件数	陽性件数(陽性率)
568件	13,370件	0件(0%)

④ 首都圏等との往来者を対象とした個人向けPCR検査

⇒ 県外往来や県外往来者と接触があり、感染に不安がある方を対象とした検査

- 実施期間：令和3年8月2日～令和4年2月22日（現在も継続実施中）

検査件数	陽性件数(陽性率)
194件	3件(1.55%)

⑤ ビジネスPCR等検査支援事業

⇒ 事業所等が従業員の健康管理などの為に実施する検査に対する補助

- 実施期間：令和3年1月～令和4年1月（現在も継続実施中）

利用件数	検査目的				陽性件数 (陽性率)
	県外・海外	イベント	健康管理	その他	
4,188件	793件(18.9%)	343件(8.2%)	3,000件(71.6%)	52件(1.2%)	30件(0.72%)

⑥ 飲食店従業員向けスポットPCR検査

⇒ 夜間の来訪者に人気のエリアにある飲食店従業員を対象にPCR検査郵送キットを配付

- 実施日：令和3年7月30日

配布数	陽性件数(陽性率)
314件	1件(0.32%)

⑦ 高齢者等新型コロナウイルス感染症検査費の助成

⇒ 重症化リスクの高い65歳以上の高齢者、または、64歳以下の基礎疾患を有する方が検査を受検した際の検査費の補助

- 実施期間：令和3年1月～12月（現在も継続実施中）

申請件数	陽性件数(陽性率)
639件	4件(0.63%)

⑧ 妊婦への新型コロナウイルス検査費の助成

⇒ 検査を希望する妊婦の方が、分娩前に検査を受検した際の検査費の補助

- ・ 実施期間：令和2年10月～令和3年12月（現在も継続実施中）

申請件数	陽性件数(陽性率)
589件	2件(0.34%)

⑨ 子育て・教育・福祉等社会機能維持支援事業

⇒ 保育，教育，介護，福祉サービスを提供する事業者において，クラスターが発生することなどにより，事業の継続や早期再開に当たって他の方法で代替できない場合に，濃厚接触者としての待機期間を短縮させるために実施する検査に対する補助

- ・ 実施期間：令和4年1月26日～（現在も継続実施中）

II 新型コロナワクチン3回目接種（追加接種）の状況等について

1 これまでの経緯

対象者	接種券発送開始	接種開始
医療従事者等	令和3年11月19日～	12月1日～
高齢者施設の入所者等	12月23日～	令和4年1月4日～
高齢者（65歳以上） ※施設入所者等除く	令和4年1月17日～	1月25日～ （1週間前倒しで開始）
一般の方（18～64歳）	2月17日～	2月20日～

2 新型コロナワクチン3回目接種について

(1) 対象者

2回目接種を完了した18歳以上の者

(2) 接種間隔

- ・ 国は、当初は、3回目接種の時期を2回目接種完了から原則「8か月」以上経過後としていたが、現在は、予約枠に空きがある場合、更なる前倒し（2回目接種から6か月以上経過後）での接種を可能としている。
- ・ 本市では2月21日からすべての市民に対し、最短の接種間隔である「6か月」で「接種券」を発送し、接種を進めている。

対象者	2回目接種からの接種間隔		
	当初	現行	
		国	本市
医療従事者等, 高齢者施設の入所者等	8か月	6か月	同左
高齢者（65歳以上） ※施設入所者等除く		7か月 （3月から6か月）	2月7日から <u>6か月</u>
一般の方（18～64歳）		8か月 （3月から7か月）	2月21日から <u>6か月</u>

(3) 3回目の接種体制

接種体制		接種会場	ワクチンの種類
本市	個別接種	・市内の病院・診療所（約270か所）	ファイザー モデルナ
	集団接種	・地区市民センター（13か所） ・市民活動センター（2か所） ・保健センター，総合コミュニティセンター ・東武宇都宮百貨店，宇都宮大学	モデルナ
県	大規模接種	・とちぎワクチン接種センター〔とちぎ健康の森，矢板市文化会館，ロブレ（小山市），ビバモール足利堀込〕	モデルナ
国	大規模接種	・自衛隊大規模接種センター	モデルナ
	職域接種	・企業等	

(4) 予約方法

市から郵送される「接種券」に記載された「予約申込番号」を基に以下の方法で予約

電話予約	宇都宮市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター 平日・土日祝 8:30~17:15 ※ 通話料無料
WEB予約	宇都宮市新型コロナウイルスワクチン接種予約サイト ※ 24時間申込み可能

※ 県の大規模接種会場は、WEB、LINE、電話で予約受付。国の大規模接種会場はWEBで予約受付

(5) 市民への周知

3回目接種の概要について、市広報紙、市ホームページ、新聞折り込みチラシ、ラジオ、動画モニター（本庁舎や地区市民センター、大通り沿いのバス停）、ツイッターなどで周知

※ あらゆる機会を通して交互相種の効果と安全性、感染拡大を踏まえた早期接種の重要性についても周知

4 本市の接種状況等

(1) 接種状況（接種回数・接種率）

国の「ワクチン接種記録システム（VRS）」に基づく数値（2月21日時点）

	接種回数	接種率
1回目接種	421,671	90.2%
2回目接種	417,384	89.3%
3回目接種	88,231	20.1%

※ 接種回数は医療従事者等を含む。

※ 接種率は接種対象年齢（1・2回目接種は12歳以上、3回目接種は18歳以上）に占める割合

(2) 3回目接種の予約状況

本市の「予約システム」に基づく数値（2月22日時点）

対象期間	2月22日（火）～3月10日（木）		
ワクチン	ファイザー	モデルナ	合計
予約枠	16,465	28,590	45,055
予約者数	16,394	21,001	37,395
予約率	99.6%	73.5%	82.3%

小児への新型コロナワクチン接種について

1 概要

(1) 接種対象者及び接種間隔等

5歳から11歳までの約32,500人(3週間の間隔をあけて2回接種)

(2) ワクチン供給量

第1クールは3月2日に納品(第2クールの納品日は幅を持って示されている)

クール	納品日	本市への納品数
第1クール	3/2	3,600回分 (1,800人分)
第2クール	3/7~3/20	9,000回分 (4,500人分)
合計		12,600回分 (6,300人分)

※ 上記のほか、基礎疾患患者等の優先接種分として自治医大・獨協医大に配送

2 小児へのワクチン接種体制の基本的な考え方

(1) 早期接種の推進について

感染予防と重症化防止のため、ワクチン接種を希望する者が早期に接種できる体制を整備する。

(2) ワクチン供給量と予約枠について

限られたワクチン供給量の中で、早期接種を実施していくことを前提としながら、重症化リスクの高い者への接種を優先するとともに、ワクチン量に応じた予約枠を設定する。

(3) 「接種券」発送について

あらゆる機会を捉えて接種できるよう、市内のすべての小児にできるだけ早く「接種券」を発送する。

3 今後の進め方

(1) 早期接種の推進

予防接種法施行令が改正されたことを受け、本市へのワクチン納品後、速やかに接種を実施することとし、令和4年3月4日から接種を開始する。

(2) 接種順位

ワクチンの供給量が限られていることから、まずは喘息などの「基礎疾患等のある小児」を優先接種の対象とし、次にマスクの常時着用など感染防御対策をとることが難しい低年齢児(5歳)から接種を進める。

(3) 「接種券」の発送

「接種券」を一括発送(令和4年2月21日)

(4) 小児接種の周知

小児接種の効果や安全性、接種スケジュールなどについて、接種対象となる小児(5歳~11歳)の親世代に効果的なSNS等の活用や、庁内関係課と連携し、学校や幼稚園等を通じた情報発信に努める。

4 接種スケジュール

優先	接種対象者	対象人数	予約開始日	予約枠公開期間	予約枠数
1	<u>基礎疾患等のある小児</u>	約 3,000 人	2 月 28 日	3 月 4 日 ～3 月 17 日	約 3,400 人分
2	5 歳の方	約 4,200 人	3 月 7 日	3 月 18 日 ～3 月 24 日	約 2,500 人分
3	6 歳から 11 歳の方 (※)	各年代 約 4,200 人	ワクチン供給量や予約状況に応じて順次公開		

※ 12歳からは、小児用ではない通常のワクチンでの接種となることから、現在11歳の方は、どちらのワクチン接種も選択できるよう、12歳の誕生日の1か月前から小児用ワクチンの1・2回目の予約を受け付ける（事前申請不要）。